

石油化学製品生産設備の営業運転開始について

1. 株式会社ジャパンエナジー(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫、以下「Jエナジー」、三菱化学株式会社(本社:東京都港区芝五丁目、社長:小林喜光、以下「三菱化学」)および三菱商事株式会社(本社:東京都千代田区丸の内二丁目、社長:小島 順彦、以下「三菱商事」)は、3社の合弁会社である鹿島アロマティックス株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:内田幸雄、以下「鹿島アロマ」)を通じて、Jエナジー子会社の鹿島石油株式会社鹿島製油所(所在地:茨城県神栖市)内に石油化学製品生産設備を建設してまいりましたが、このたび、無事設備が完成し、去る1月4日に営業運転を開始しました。
2. 新設した設備等の概要は次のとおりです。
 - (1) 設備建設場所: 鹿島石油鹿島製油所内(所長:古山富夫、所在地:茨城県神栖市)
 - (2) 主要生産設備(生産能力): 第1コンデンセート蒸留装置(60千バレル/日)
第2パラキシレン製造装置(42万トン/年)
第3接触改質装置(20千バレル/日)
第1芳香族溶剤抽出装置(19万トン/年)
第2トランスアルキレーション装置(15千バレル/日)
 - (3) 主要生産品目: パラキシレン(約42万トン/年)、ベンゼン(約19万トン/年)、軽質ナフサ(約85万KL/年)、灯・軽油留分(約100万KL/年)、プロパン(約3万トン/年)、ブタン(10万トン/年)等
 - (4) 工期: 2006年9月15日～2007年9月30日
 - (5) 設備投資額: 約700億円
 - (6) コントラクター: 日揮株式会社、千代田化工建設株式会社、日陽エンジニアリング株式会社
3. 本プロジェクトは、コンデンセート(天然ガス随伴原油)からパラキシレンやベンゼン等の芳香族(アロマ)製品および軽質ナフサ等を生産する設備を建設し、アロマ製品をJエナジーが、軽質ナフサを三菱化学がそれぞれ引き取るものです。三菱商事は、コンデンセートの調達およびアロマ製品の販売に関する協力を行います。また、鹿島アロマの操業は、鹿島石油が全面的に受託し、同社鹿島製油所の既存設備との一体最適運転を図ります。

● (ご参考) 鹿島アロマの概要

社名: 鹿島アロマティックス株式会社(英文名: Kashima Aromatics Co.,Ltd.)
本社: 東京都港区虎ノ門二丁目
社長: 内田幸雄(Jエナジー常務執行役員)
資本金及び資本準備金: 200億円(Jエナジー 80%、三菱化学 10%、三菱商事 10%)
事業内容: パラキシレン、ベンゼン、軽質ナフサ等の製造販売
売上規模: 年間約1,400億円(2008年度予想値)

以上

● 【添付資料】新設した石油化学製品生産設備

